

1店1台運動を継続 直近3年で284台改造

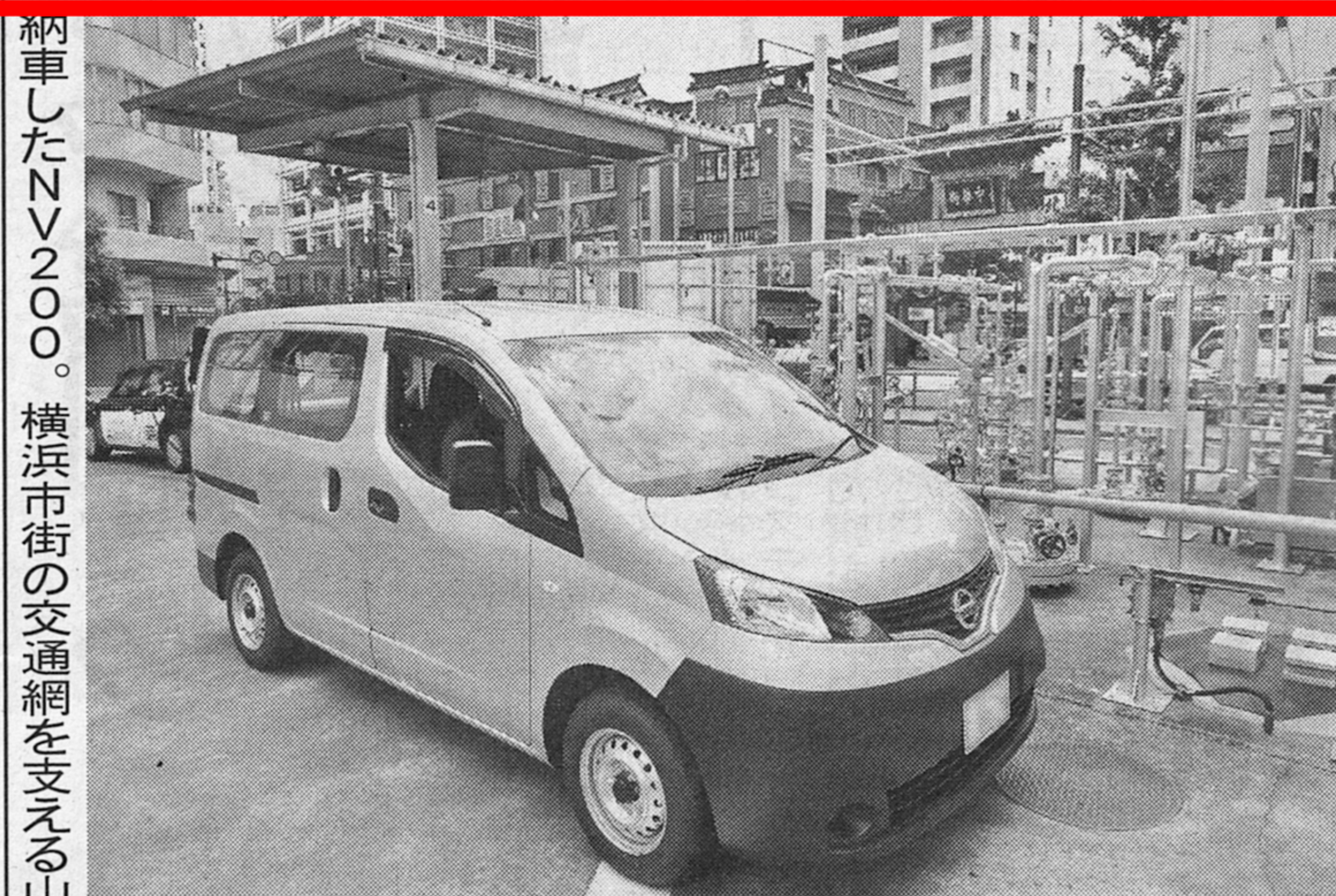
サイサン(川本武彦社長)はガスワングループのオリジナルブランド「Gas Oneハイブリッド」を展開し、直近3年間でLPG車284台を改造した。

故川本宜彦会長の遺志を継ぎ、ガスワングループを挙げ「1店1台運動」を継続している。グループの新規・入れ替えの営業車を中心に年平均

120台のペースで改造成。現在では社用車の8割強がLPG車となった。販売店への普及策として夏に1店1台運動のポスターを再度作成し、啓蒙活動を展開する。



Gas Oneサミット2018でLPGハイブリッド車を展示した



納車したNV200。横浜市街の交通網を支える山下町オー

奥村長は、V200の営業車として、安定した

サイサン

さいたま市

中山隆執行役員LPGガス販売部長



供給不安による混乱が発生したが、LPG車は供給が安定していたため災害時でも活躍した。全国LPGガス協会スタッフと中山隆執行役員を務める手はない」と訴える。

中山隆執行役員LPGガス販売部長は「卸売事業者が牽引しないと普及は進まない。委員会で呼びかけるとともに、ブロックごとに卸売事業者を訪問してお願いしている」と説明し、「LPG車が減るなか、ジャパンタクシーが次世代自動車として普及している。一方で燃費が向上したため、LPGガスの数量減も踏まえてLPGガスタンドを維持していくには、LPG車の台数を増やすことしか手はない」と訴える。

並乃坂太へ宮